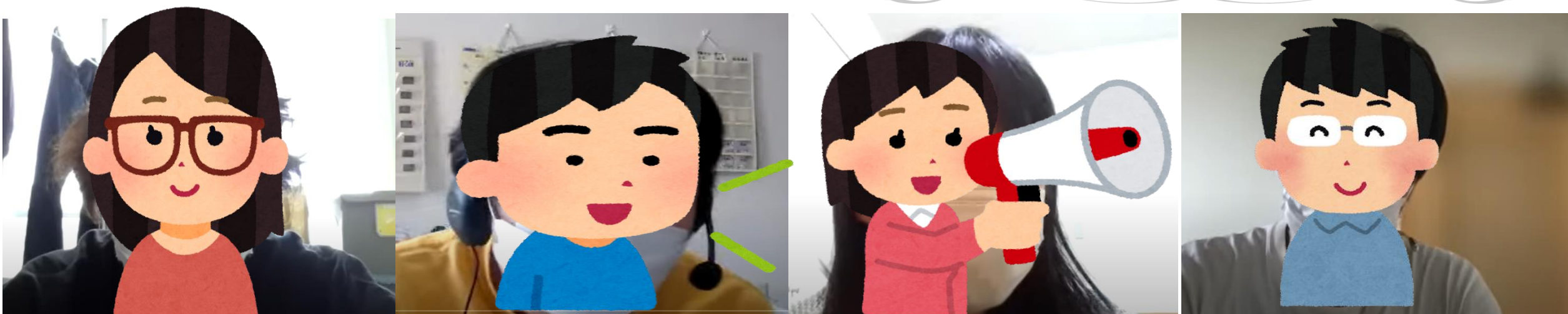




暑い日が続いていますが、体調はいかがでしょう？北海道の夏は短いので、存分に楽しみたいところですね！さて、今回の広報はベテラン職員さんにはるにれの魅力についてインタビューしてみました♪以前委員会でおこなったアンケートで「はるにれの里にこのまま働き続けるか分からない」と悩んでいる人が多くいることがわかりました。そこで、ベテラン職員さんに「どのような魅力、やりがいを感じて、はるにれで働き続けているのか」についてお話を伺えたらとおもい今回はそれぞれ異なったエリアに配属されている4名の職員さんにお話を伺いました☆

テーマ 『Zoom座談会～ベテラン職員による法人の魅力に迫る～』



錚々たるメンバーがここに集結、、、、

★はるにれの里に就職した理由は何ですか？



「高校生の時のボランティア活動がきっかけで福祉の分野に興味を持ちました。地元が石狩なこともありはるにれの里への就職を決めました」



「父親の看病がきっかけで福祉の分野に興味を持ちました。そしてヘルパーの資格を取っていざ就職と考えたときにゆいでの就職を希望していましたが、厚田配属になりました。戸惑いましたが断り切れずに就職しました(笑)」



「大学生の時に介護や福祉、医療系の仕事に就きたいと思っていました。いざ就職するとなると障がい分野が気になり、当時タイミング良くはるにれの里に出会い就職しました」



「福祉の大学を卒業していますが実習の時に特養の現場環境を見て自分には合わないと感じました。しかし一般企業は長く続かずで、福祉の分野で働いてみたいと思い直し縁があって就職しました。」

★正直…退職を考えたことがありますか？ここまで辞めずに続けてこれた理由はなぜ？



「この仕事が好きなので転職は考えたことがないです。利用者さんと関わるのは勿論、どうしたらより良くなるかを考えることが好きです」

委員会メンバー 「ええええ、すごい……………(一同驚愕)」



「職安に通い続けて働きたくても働けない日々を送った経験があるので、またその生活を送るかもしれないと考えると退職はしたくないです…。チームで支援する喜びや達成感もあります」



「今辞めたらどうなるかなあと漠然と考えた時期はありますが、具体的に仕事を探してみようと行動に移すまでには至らずでした。10年以上働いていますがずっと同じ仕事をしていただけではなく、異動など色々な仕事を経験できたのも辞めずにいれた理由だと思います」



「正直あります。利用者さんの支援などで行き詰るときに退職が頭の中をよぎることがあります。それでもチームみんなで励まし合う現場環境の温かさを感じて何とか続けることが出来ています」

★今後のはるにれの里について思う事、ここをこうすればもっと働きやすい、今のこういう点が良い！



「社会福祉法人なので収益を上げて人件費に回すという難しさは感じています。賃金の面でも向上できれば人材不足の解決にも繋がるかもしれませんが難しいですよねえ…。育休や有休取得への取り組みなど改善してきている点も多くあるのでどんどん改善して行ってほしいです」



「人材不足ではあるが10年前と比べると働きやすくなっていると感じます。他地域への異動を飛ばされたと捉える人もいるけれど、気持ちを切り替えるきっかけにもなるし経験も積めるので、多くの事業所を持っているのは強みだと思います。なので異動したいと思っている人は異動させる、異動したくない人には異動しなくても良いという〇〇年はいってほしいという思惑を抜きにした柔軟な体制が確立できればいいと思います」



「周りの知り合いに聞いてもどこの福祉の職場でも人材不足だと聞いています。少しでもこの法人で働きたい！と思う魅力があればいいと思います。有休を気軽に取得できるような環境など他の法人にはない強みがあればいいなあと感じます。ここで働きたい！という思いで就職してくれる人が増えるのが法人にとっても利用者さんにとっても一番だと思います。」



「公休や有休の日でも外せない仕事があり出勤している方も見かけます。そういう休みの日に出勤せざるを得ない環境も改善出来たらいいなあと思います。また、難しいとは思いますが4月に一斉に異動するのではなく、数週間ずらして異動できる体制を確立できれば他地域への異動でも、余裕を持って引継ぎが出来るのではないかと思います。そうすることでお互いの事業所でフォローし合っていければいいなあと思います。」

まとめ

今回は、ベテラン職員さん(勤続10年以上)にインタビューさせていただき、ご自身の経験や想いをお話いただきました。誰もが働きながらも「もっとこうだったら」「こういうところが働きにくい」と感じることもあると思います。しかし、今回の座談会メンバーさんは異動先での異なる業務に楽しみを見つけ出していたり、「昔よりは〇〇のところは良くなっている」などポジティブな面にも目を向けており、これが続けてこれている秘訣でもあるのかなと思いました。また仕事するにおいて「辛い時の乗り越え方」を習得しているのではないかと感じます。「支援が上手いかわない」「業務の負担が大きい」などあるとは思いますが、皆さん「周りの人のフォローがあるからやっていける」と共通して話されていたことも印象的です。温かい人柄が多いのははるにれの里の魅力なのかもしれません♪

委員会より

温かい人柄が多いのがはるにれの魅力…しかし温かい人柄が多いが故に「自分が休むと他の人に迷惑かける」と思ってしまうのかもしれませんが、もっと休みがとりやすく、働きやすい環境づくりを委員会としても検討していきたいなと思います。また、ポジティブな感情は大切ですが働きながら感じる違和感も見逃すのではなく大事にしていくべきだと思います。それがこの先の「前より良くなった」とはるにれの進化にも繋がるのかなと思います。今回は4名の職員さん、お忙しいところご協力ありがとうございました★

ひとりで困っていませんか？

女性の働きやすさ向上委員会は、女性特有の困りごとを解決するためのお手伝いをします。業務上の相談事項があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。個人名は出さずに委員会の中で話し合いを設けますのでプライバシーは守られます。

wag@harunire.or.jp



女性の働きやすさ向上委員会

委員長 能登(ぼぬーる)

副委員長 加藤(なないろ)

小鹿(といろ)、白濱(やすらぎ)、
富澤(ゆい)、大和(ぷろっぷ)

